

2020年度 業績予想および 配当予想の修正について

**2020年9月23日
関西電力株式会社**

■ 2020年度 業績予想および配当予想の修正について

・業績予想および配当予想の修正について	-----	1
・2020年度 業績予想（対前年度実績）	-----	2
・2020年度 セグメント別業績見通し	-----	3
・連結経常利益の変動要因	-----	4
・新型コロナウイルス影響について	-----	5
・2020年度 業績予想の増減説明	-----	6

■ 参考資料

・小売販売電力量の見通し	-----	7
--------------	-------	---

<2020年度業績予想>

- 2020年度の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が、電力需要に及ぼす影響をはじめとして、事業活動全般にわたる影響が見通せないことから未定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症が業績に及ぼす影響などについて、一定の前提を置いて算定しましたのでお知らせいたします。
- **連結経常利益**は、前年度に比べて、新型コロナウイルス感染症による減益影響430億円に加え、新型コロナウイルスの影響は除いた小売販売電力量の減少や原子力利用率の低下などにより、815億円減益の**1,300億円**となる見通しです。

<2020年度配当予想>

- 2020年度の**配当予想**につきましては、2020年度の業績予想など経営環境を総合的に勘案のうえ、年間配当予想を1株あたり**50円**（中間、期末とも25円）とさせていただくことといたしました。

2020年度 業績予想（対前年度実績）

2

（単位：億円）	2019実績	2020予想	増減	増減率
売上高	31,842	29,800	△2,042	△6.4%
営業利益	2,069	1,200	△869	△42.0%
経常利益	2,115	1,300	△815	△38.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,300	900	△400	△30.8%

＜主要データ＞

	2019実績	2020予想	増減
総販売電力量（億kWh） ※1,2	1,273	1,152	△122
小販売電力量	1,130	1,013	△117
電灯	348	336	△12
電力	782	677	△105
他社販売電力量	143	139	△4
エリア需要（億kWh）	1,348	1,306	△41
ガス販売量（万t）	139	150	+11
原子力利用率（％）	48.4	42程度	△6.4程度
出水率（％）	98.6	102程度	+3.4程度
全日本原油CIF価格（\$/b）	67.8	38程度	△29.8程度
為替レート（インターバンク）（円/\$）	109	109程度	－
金利（長期プライムレート）（％）	0.96	1.0程度	+0.04程度

＜影響額＞

（単位：億円）	2019実績	2020予想
原子力利用率：1％	37	22
出水率：1％	11	8
全日本原油CIF価格：1 \$/b	43	30
為替レート：1 円/\$	43	30
金利：1％	87	101

- ・上記の「影響額」は、費用への影響額を示している。
- ・上記の「影響額」については、一定の前提に基づき算定した理論値であり、前提諸元が急激かつ大幅に変動する場合等には、上記の影響額により算出される変動影響が実際の費用変動と乖離する場合がある。

＜2020年度配当予想＞

	中間	期末	年間
1株当たりの配当金	25円	25円	50円

※ 1. 発電・販売事業にかかる総販売電力量である。

※ 2. 2019年度実績については、送配電事業の分社化影響補正後の数値である。

2020年度 セグメント別業績見通し

3

(単位：億円)	2019実績		2020予想		増減	
	外販売上高	経常利益	外販売上高	経常利益	外販売上高	経常利益
総合エネルギー・送配電事業	28,392	1,678	26,360	1,330	△2,032	△348
発電・販売事業	22,871	589	19,990	480	△2,881	△109
送配電事業	2,487	717	3,160	570	+673	△147
ガス・その他エネルギー事業	3,033	371	3,210	280	+177	△91
情報通信事業	2,203	341	2,200	350	△3	+9
生活・ビジネスソリューション事業	1,247	205	1,240	90	△7	△115
合計	31,842	2,226	29,800	1,770	△2,042	△456
調整額	—	△110	—	△470	—	△360
連結ベース	31,842	2,115	29,800	1,300	△2,042	△815

※1. 2020年4月1日、送配電事業の分社化に伴い、セグメント区分を一部見直している。

※2. セグメント区分の見直しに伴い、2019年度セグメント別実績は組み替えて試算し、表示している。

※3. 発電・販売事業には、グループ本社を含む。

<参考>

(単位：億円)	2019実績	2020予想	増減
国際（部門収支）	△252	15	+267

国際（部門収支）の増減理由：前年度に計上した一時的な損失の反動減による増

連結経常利益の変動要因

4

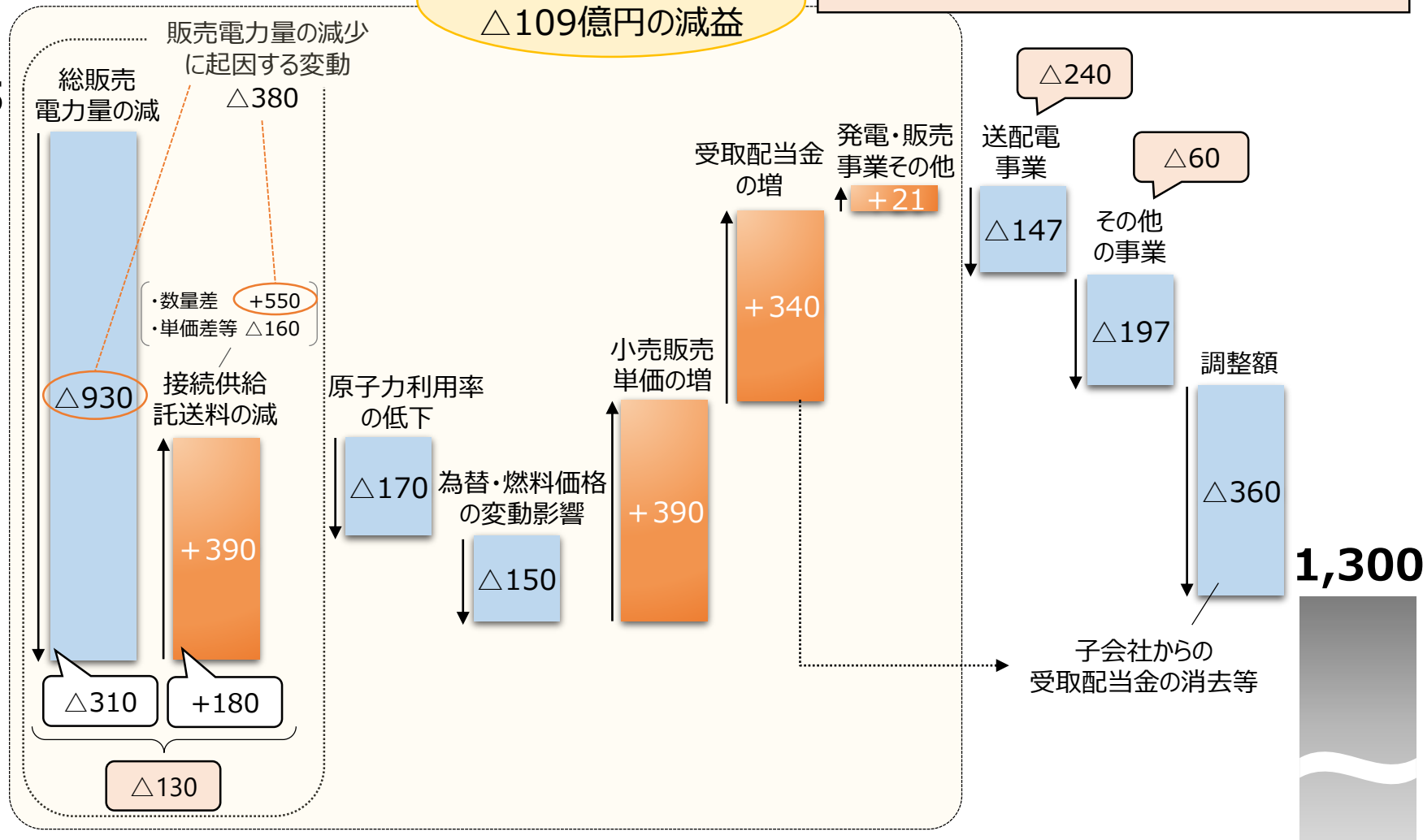
(単位：億円)

連結経常利益：△ 8 1 5 億円の減益

発電・販売事業
△ 109 億円の減益

吹き出し内は新型コロナウイルス影響（合計△ 430）

2,115



2019実績

2020予想

新型コロナウイルス影響について

5

(単位：億円)	※1 経常利益 への影響	説明
総合エネルギー・送配電事業	△390	
発電・販売事業	△130	※2 ・小売販売電力量の減少 △39億kWh （ 総販売電力量の減 △310 接続供給託送料の減 + 180 ）
送配電事業	△240	※2 ・エリア需要の減少 △49億kWh
ガス・その他エネルギー事業	△20	・国際事業における投資先のエリア需要の減少に伴う配当の減ほか
情報通信事業	△60	グループ会社 —
生活・ビジネスソリューション事業	△40	・ホテル事業売上減、テナント賃料減ほか
合計	△430	

※1. 現時点で把握している影響であり、一定の前提を置いた分析値を含む。

※2. 小売販売電力量、エリア需要の減少影響は、「気温影響」などの算定し得る影響を除いたものを「新型コロナウイルス影響」と仮定し算定している。

2020年度 業績予想の増減説明

(単位：億円)		2019実績	2020予想	増減	増減説明
送配電事業	外販売上高	2,487	3,160	+673	・託送収益の外販増 ・再エネ交付金の増
	経常利益	717	570	△147	・エリア需要減による託送収益の減 ・減価償却費増による減
ガス・その他 エネルギー事業	外販売上高	3,033	3,210	+177	・新電力事業における販売電力料の増
	経常利益	371	280	△91	・燃料上流事業における原油価格の変動に伴う売上の減
情報通信事業	外販売上高	2,203	2,200	△3	・子会社の連結除外による影響
	経常利益	341	350	+9	・コンシューマサービス顧客数の増加
生活・ビジネス ソリューション事業	外販売上高	1,247	1,240	△7	・新型コロナウイルス影響によるホテル事業 売上減、テナント賃料減
	経常利益	205	90	△115	・新型コロナウイルス影響による売上減および住宅事業、賃貸事業における費用増

(参考) 小売販売電力量の見通し

7

<2020年度小売販売電力量実績>

(単位:億kWh)		4月	5月	6月	7月	8月	通期予想
電 灯		28 (94.2)	26 (94.8)	21 (95.1)	24 (103.2)	33 (96.7)	336 (96.4)
電 力		55 (85.8)	50 (79.1)	55 (84.2)	61 (86.3)	65 (86.8)	677 (86.6)
小売販売電力量		84 (88.4)	76 (83.8)	75 (86.9)	84 (90.5)	97 (89.9)	1,013 (89.6)

※ 1. () 内の数値は対前年同期比の%

※ 2. 発電・販売事業にかかる小売販売電力量である。

<小売販売電力量見通しにかかる増減要因>

(単位:億kWh)		2019 実績	2020 予想	増減	検針影響	閏影響	気温影響	需要数 影響	その他 影響
電 灯		348	336	△12	△1	△1	+4	△15	△0
電 力		782	677	△105	+0	△2	+0	△64	△39
小売販売電力量		1,130	1,013	△117	△0	△3	+4	△79	△39

その他影響には、「新型コロナウイルス影響」を含む

ご質問・お問い合わせ等は、経理室計画グループまでお願いします。

電話番号：06－7501－0315

F A X：06－6441－0569

e－mail：finance@kepco.co.jp

本資料に記載されている当社の業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果となる可能性もあることをご承知おき下さい。